

様式第 1 号

令和 5 年 6 月 26 日

文部科学大臣 殿

学校法人 西大和学園

理事長 田野瀬 太樹

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	大和大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学)・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	大阪府吹田市片山町 2 - 5 - 1
学長又は校長の氏名	学長 田野瀬 良太郎
設置者の名称	学校法人 西大和学園
設置者の主たる事務所の所在地	奈良県北葛城郡河合町薬井 295 番地
設置者の代表者の氏名	理事長 田野瀬 太樹
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.yamato-u.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	自己点検・評価委員会 橋爪 真 法人本部・水野雅仁	06-6385-8010 0745-73-6565	hashidume@yamato-u.ac.jp ma.mizuno@t.nishiyamato.ed.jp
第2号の1	自己点検・評価委員会 橋爪 真	06-6385-8010	hashidume@yamato-u.ac.jp
第2号の2	法人本部・水野雅仁	0745-73-6565	ma.mizuno@t.nishiyamato.ed.jp
第2号の3	自己点検・評価委員会 橋爪 真	06-6385-8010	hashidume@yamato-u.ac.jp
第2号の4	法人本部・水野雅仁 自己点検・評価委員会 橋爪 真	0745-73-6565 06-6385-8010	ma.mizuno@t.nishiyamato.ed.jp hashidume@yamato-u.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1) 実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2) ①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2) ②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- ☒ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	F127310108394	学校名	大和大学
設置者名	西大和学園		

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	9,819,577,744円	6,130,920,895円	3,688,656,849円
申請2年度前の決算	9,152,325,826円	5,857,311,007円	3,295,014,819円
申請3年度前の決算	8,193,463,850円	5,651,710,027円	2,541,753,823円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	6,254,961,588円	7,499,822,671円	-1,244,861,083円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	3,920人	4,277人	109%
前年度	3,220人	3,513人	109%
前々年度	2,790人	3,025人	108%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算 における金額

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算 における金額

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

[illegible]

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.yamato->

[u.ac.jp/assets/pdf/student/2023jitsumukeiken_teacher.pdf](http://www.yamato-u.ac.jp/assets/pdf/student/2023jitsumukeiken_teacher.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
------	------

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	4年 (令和2年 4月1日～ 令和6年3 月31日)	組織運営体制及び 財務の管理
非常勤	会社役員	4年 (令和3年 4月1日～ 令和6年3 月31日)	組織運営体制及び 財務の管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 内規である「シラバス作成のためのガイドライン」と「シラバス作成・編集上の留意事項」に従って、シラバスの作成・公表を行う。また、特に留意すべき事項は以下のとおりとする。 1. 以下に示すシラバスの役割等を全教員で共通理解を図る。 (1) 授業選択のガイドとしての役割 (2) 担当教員と受講する学生との契約書としての役割 (3) 学修効果を高めるための役割 (4) 授業全体をデザインするための役割 (5) 学科・専攻・コースのカリキュラム全体に一貫性を持たせるための役割 (6) 授業の改善につなげる役割 2. シラバスの各項目の記載方法については、学生の視点に立ち、抽象的な表現は避け、具体的でより分かりやすい記述にする。 3. 授業担当者は、当該の講義の目的・達成目標等を明確に定めるとともに、本学および当該学部の CP:カリキュラム・ポリシーおよび、DP:ディプロマ・ポリシーに関連づけて設定されていることを確認する。 4. 授業計画(シラバス)作成時期は、毎年、2月初旬から3月上旬とする。 5. 授業計画(シラバス)は本学の HP(ホームページ)において公開している。学生には HP 以外に学生ポータルサイトから WEB 上で閲覧できるようにしている。	
授業計画書の公表方法	https://cpweb.yamato-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価します。 (評価方法) 評価については、授業科目の担当教員が試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行います。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。複数の担当者で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮されています。なお、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を備えることで、成績評価の透明性を確保します。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【成績評価基準】 科目の成績評価は、「秀」「優」「良」「可」「不可」「無資格」とし、以下の通りとする。 評価：100点満点法の得点 秀（P）：100点～90点 合格 優（A）：89点～80点 合格 良（B）：79点～70点 合格 可（C）：69点～60点 合格 不可（D）：59点～0点 不合格 無資格（E）：「－」 不合格 【GPAについて】 GPA（Grade Point Average）は、学生の成績評価値のことで、学業成績を総合的に判断する指標として利用する。本学のGPAは次に示す計算式の通り、修得した成績のうち、「秀」を4、「優」を3、「良」を2、「可」を1として、各科目の単位数に乘じて得た積の合計を総履修単位数で割って算出した数値を、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で算出する。 〔GPA計算式〕 $\frac{(\text{「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1)}{\text{総履修単位数}}$ 成績評価指標の公表・成績分布状況の把握 学生に対しては在学生用HP（ホームページ）に掲載している「学生便覧」に上記の成績評価の指標を記載している。一般には本学のHPにおいて、「試験と成績評価について」として公開している。 また、成績分布状況に関する資料については、学生ポータルサイトを活用して、学生が自身で学科・専攻等の単位おける自身の位置づけが把握できるように成績分布等を学期毎に全学生に通知している。また、一般には本学HPにて「GPA分布表」として学部・学科・専攻別、学年別に公表している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.yamato-u.ac.jp/assets/pdf/student/grade.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

大和大学は、教育の目的に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学部において定める共通基礎科目および専門教育科目に関する所定の単位を修得し、以下の能力・資質を身に付けたと認定した学生に学位（学士）を授与します。

1. 学士としてふさわしい、幅広い教養と視野を有している。
2. 各専門分野について高度な知識・技術・見識を有している。
3. 豊かな人間性と広く、偏らない視野を備えている。
4. 社会の発展に貢献することができる意欲と能力を有している。

また、各学部等の卒業認定・学位授与の方針を次のように定めます。

[教育学部]

教育学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。
2. 豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。
3. 偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。
4. 幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。
5. 中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。

[保健医療学部]

〈看護学科〉保健医療学部看護学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。
4. 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。

〈総合リハビリテーション学科〉保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
3. チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。
4. 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。

[政治経済学部]

〈政治・政策学科〉政治経済学部政治・政策学科では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力和政治学、政策学、のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

〈経済経営学科〉政治経済学部経済経営学科では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

[理工学部]

理工学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 技術者、研究者として新たな価値の創造や社会の発展に貢献するため、専門領域に偏らない幅広い教養と視野を身に付けること。
2. 「理学」「工学」を俯瞰的に見つめるため、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力を身に付けること。
3. 専門的な知識、技術、能力を有するだけでなく、技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身に付けること。
4. 「理学」「工学」全般の知識、技術、能力を活かし、幅広い視野で他者と協調して課題の解決にあたり、社会の発展に貢献する意欲を身に付けること。

[社会学部]

社会学部では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 社会学および関連分野に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。
3. 社会的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。
5. 社会学に深い関心を持ち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。

[情報学部]

情報学部では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけている。
2. 情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野を身につけている。
3. 多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる。
4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる。
5. 情報社会と情報技術に深い関心を持ち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有している。
6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html
財産目録	https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html
事業報告書	https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html
監事による監査報告(書)	https://www.nishiyamato.ed.jp/nishiyamato_1221/financial/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.yamato-u.ac.jp/about/information/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 日本高等教育評価機構による令和2年度大学機関別認証評価結果を日本高等教育評価機構ホームページ(http://www.jihee.or.jp)および本学ホームページ(http://www.yamato-u.ac.jp/about/information/)にて公表している。
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 教育学部のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の 4 つの専攻を置き、子どもの「生きる力」を学校教育の場で育む教員を養成することを目指します。基礎的な教養を偏りなく身に付けるようにするとともにそれぞれの専攻における教育の専門職に求められる高度な知識及び技能を授け、さらに、豊かな人間性と開かれた社会性を涵養し、教育に対する強い情熱を持って自ら学び続けようとする態度を養う。このように教員に求められる資質・能力を備え、教育保育分野に貢献する人材の育成を教育の目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 教育学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。 2. 豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。 3. 偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。 4. 幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。 5. 中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 教育学部では、目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。 1. 教育の専門職にふさわしい基礎的な教養を身に付ける科目を置き、また、外国語について学ぶ科目を置く。 2. 教育の専門職として必要な知識及び技能を養成するための基礎となる教職の意義、教育の原理・制度・歴史、子どもの成長や発達についての学問的理解、教科の基礎を学ぶ科目を置く。 3. 教職や教科の基礎となる科目を深化・発展させるべく、教科内容についての幅広く深い理解、子どもの発達段階に応じた適切な助言・指導を行える実践力、指導法についての専門的知識や技能、そして情熱を持って授業を実践し先導する力を養成する科目を置く。 4. 生徒指導及び進路指導や学級経営を適切に行うために必要な豊かな人間性や社会性を身に付ける科目を置く。 5. 初等教育から中等教育への接続の意義重要性に鑑み、主たる免許資格以外の教育内容を学修することにより複数免許の取得ができるように教育課程を編成する。 6. 特別支援教育の意義重要性に鑑み、その基礎となる科目についてはすべての専攻において必修科目として置く。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf
(概要) 教育学部では、以下に掲げる資質・能力を備えた学生を受け入れます。 1. 高等学校における課程の修了時点で相当する基礎的な学力を有する人。 2. 教職に強い関心があり、教員に求められる専門的知識及び技能を身に付けようとする人。 3. 学んだことを広く人と交流する中で生かそうとし、また、そこから新しいことを学ぶことができる人。 4. 教育的愛情を持ちながら子どもと接し、子どもを育成することに使命感を持っている人。

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
(概要) 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力と豊かな人間性・社会性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成することを教育の目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
(概要) 〈看護学科〉 保健医療学部看護学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。 2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。 3. コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。 4. 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。 〈総合リハビリテーション学科〉 保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。 2. 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。 3. チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。 4. 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
(概要) 〈看護学科〉 保健医療学部看護学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。 1. 豊かな人間性を涵養し看護実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1年次より専門基礎科目を配置する。

2. 各領域の専門科目は 4 年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. 3 年次から希望者は看護師養成課程に加えて保健師養成課程または助産師養成課程を選択できる。
5. カリキュラム全体を通して、高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

〈総合リハビリテーション学科〉

保健医療学部総合リハビリテーション学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。

1. 豊かな人間性を涵養しリハビリテーション実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1 年次より専門基礎科目を配置する。
2. 各分野の専門科目は 4 年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。
3. 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。
4. カリキュラム全体を通して、セラピストの役割を理解し高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

（概要）

〈看護学科〉

保健医療学部看護学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人
2. 看護学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

〈総合リハビリテーション学科〉

保健医療学部総合リハビリテーション学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。

1. 人間・健康・医療に関心を持つ人
2. リハビリテーション学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人
3. 思いやりの心を持って他人と接することができる人
4. 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

学部等名 政治経済学部

教育研究上の目的（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

（概要）

〈政治・政策学科〉

広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに政治学分野および政策学分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを教育の目的とします。

〈経済経営学科〉 広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに経済学分野および経営学分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを教育の目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
（概要） 〈政治・政策学科〉 政治経済学部政治・政策学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。 2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と政治学、政策学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。 3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。 4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。 〈経済経営学科〉 政治経済学部経済経営学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。 2. 現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。 3. 将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。 4. 自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

(概要) 〈政治・政策学科〉 政治経済学部政治・政策学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。 1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。 2. 政治学・政策学の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3年次・4年次においては学生個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。 3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を4年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。 4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。 〈経済経営学科〉 政治経済学部経済経営学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。 1. 幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。 2. 経済学・経営学の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3年次・4年次においては学生個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。 3. 社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を4年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。 4. 学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
(概要) 〈政治・政策学科〉 政治経済学部政治・政策学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。 1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。 2. 社会の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。 3. 創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。 4. 多様な意見を尊重することのできる人。 〈経済経営学科〉 政治経済学部経済経営学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。 1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。

2. 経済の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。
3. 創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。
4. 多様な意見を尊重することのできる人。

学部等名 理工学部

教育研究上の目的（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

（概要）

人文科学や社会科学の幅広い教養と倫理観、理工の基礎力と各専攻専門領域に関する知識、技術、能力を基盤に、「理学」「工学」を俯瞰的に見つめる幅広い視野、客観的な観察、論理的・創造的な思考力により、新たな価値を作り出し、社会の発展に貢献しようとする技術者、研究者を育成することを教育の目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

（概要）

理工学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

1. 技術者、研究者として新たな価値の創造や社会の発展に貢献するため、専門領域に偏らない幅広い教養と視野を身に付けること。
2. 「理学」「工学」を俯瞰的に見つめるため、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力を身に付けること。
3. 専門的な知識、技術、能力を有するだけでなく、技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身に付けること。
4. 「理学」「工学」全般の知識、技術、能力を活かし、幅広い視野で他者と協調して課題の解決にあたり、社会の発展に貢献する意欲を身に付けること。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

（概要）

理工学部では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成する。

1. 「理学」「工学」に共通する理工の基礎力を育成することを目的に、全専攻共通の基礎系科目を配置するとともに、幅広い教養と視野の育成を目的に、専攻を横断、融合した科目を配置する。
2. 専門領域に関する知識、技術とともに、それらを活用し課題解決に取り組む能力を身につけることを目的に、専攻専門科目を開設するとともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を養成することを目的に、他専攻の専門科目の履修を必修科目として設定する。
3. 技術者、研究者としての責任感、使命感、倫理観を身につけることを目的に、社会人として必要な教養、外国語、情報リテラシーに関する科目を配置するとともに、グループワークなどのアクティブラーニングを通じて主体性、協調性、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。
4. 各専攻の専門的知識や技術をもとに、他者と協調して実社会で自らの社会的役割を果たす力を養成することを目的に、専攻融合によるPBL活動を展開する実践演習科目を開設するとともに、専門分野の研究を通じ、情報科学の知識、技術を社会貢献に活かすことを目的とした卒業研究を配置する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）

(概要) 理工学部では、以下の能力・資質を備えた学生の入学を受け入れます。 1. 理工分野の高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を有する人。 2. 理工分野に対する関心と、学びへの意欲をもち、課題にねばり強く取り組む姿勢を有する人。 3. 自ら積極的に関わろうとする姿勢、創造的な発想を有し、人と協力して社会の発展に貢献する意欲のある人。 4. 幅広い視野でものごとを捉え、論理的に思考し、適切に判断することができる人。 5. 感性豊かに物事を捉え、情報をまとめて、伝えたいことを相手に的確に表現することができる人。

学部等名 社会学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf） (概要) 全学生が共通して「社会学」に関する基礎知識を身につけた後、2年次から「現代社会学コース」「メディア社会学コース」「社会心理学コース」の3つのコースのいずれか1つに所属し、そのコースの専門分野の学びを中心に、3コースの基礎的概念や、他コースの専門科目の履修を通じ、幅広い知識、視野を身につける教育課程を編成して、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成することを教育の目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf） (概要) 社会学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 社会学および関連分野に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。 2. 社会現象を解明するための社会調査に関する基礎的知識を有していること。 3. 社会的な視点、思考力を身につけ、論理的、実証的に思考、判断できること。 4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができること。 5. 社会学に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。 6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf） (概要) 社会学部では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成する。 1. 「社会学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする授業科目を配置する。 2. 「社会学」に関する基礎的な知識、及び現代社会学、メディア社会学、社会心理学の専門の学び、及び「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識、視野の導入、調査・分析の知識方法や技術、「社会学」を学ぶうえで基盤となる知識を養成することを目的とする授業科目を配置する。 3. 「現代社会学」「メディア社会学」「社会心理学」の各コースの専門分野に関する知識、能力や、関連隣接する知識、能力を養成することを目的とする授業科目を配置する。 4. 社会の諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解

決の方法や社会に貢献する意欲を養成する「基礎演習」「専門演習」の授業科目を配置する。 5. 研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識を養成する「卒業研究」の授業科目を配置する。 6. 免許・資格取得に必要な選択科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
（概要） 社会学部では、以下の能力・資質を備えた学生の入学を受け入れます。 1. 高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいくうえで必要な基礎的な学力を身につけている人。 2. 大和大学および社会学部の教育理念、教育内容を理解し、学びに対する意欲を有する人。 3. 現代社会の諸現象、メディアの役割や課題、社会現象と人間行動に関心を有する人。 4. 他者と協調して課題を解決し、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献しようとする意欲を有する人。

学部等名 情報学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf）
（概要） 情報学部は、情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成することを教育上の目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 情報学部では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1. 情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけている。 2. 情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野を身につけている。 3. 多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる。 4. 情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる。 5. 情報社会と情報技術に深い関心をもち、意欲的に学ぼうとする姿勢を有している。 6. 他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 情報学部では、目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。 1. 教育課程には、情報学に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする「共通基礎科目」を設定する。 2. 専門の学びの「専門教育科目」には、情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけることを目的とする「基盤科目」、情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野や、情報社会と情報技術への関心、意欲的に学ぼうとする姿勢を養

成することを目的とする「情報・データサイエンス分野科目」「経済・経営分野科目」を設定する。 3. 「専門教育科目」には、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる能力や、情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる能力、他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる能力を養成することを目的とする「基礎・専門演習科目」「卒業研究」を設定する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/student_handbook/2023/02.pdf ）
（概要） 情報学部では、以下の能力・資質を備えた学生の入学を受け入れます。 1. 本学及び情報学部の教育理念、教育内容を理解し、社会の発展に貢献しようとする意欲を有する。 2. 情報社会と情報技術に対して深い興味や関心を持ち、学びに対する意欲を有する。 3. 高等学校における基本的な教科内容を理解し、大学で学んでいくうえで必要な基礎的な学力を身につけている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： http://www.yamatou.ac.jp/assets/pdf/disclosure/2023/disclosure_organization.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3 人	—					3 人
教育学部	—	18 人	10 人	0 人	0 人	0 人	28 人
保健医療学部	—	13 人	5 人	10 人	5 人	0 人	33 人
政治経済学部	—	14 人	8 人	2 人	1 人	0 人	25 人
理工学部	—	23 人	4 人	5 人	0 人	0 人	32 人
社会学部	—	14 人	9 人	0 人	0 人	0 人	23 人
情報学部	—	9 人	3 人	0 人	0 人	0 人	12 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		12 人					12 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/teachers					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

[illegible]

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	219 人 (100%)	3 人 (1.4%)	215 人 (98.2%)	1 人 (0.5%)
保健医療学部 看護学科	110 人 (100%)	4 人 (3.6%)	106 人 (96.4%)	0 人 (0%)
保健医療学部 総合リハビリ テーション学 科	123 人 (100%)	0 人 (0%)	117 人 (95.1%)	6 人 (4.9%)
政治経済学部 政治行政学科	41 人 (100%)	0 人 (0%)	40 人 (97.6%)	1 人 (2.4%)
政治経済学部 経済経営学科	92 人 (100%)	2 人 (2.2%)	89 人 (96.7%)	1 人 (1.1%)
合計	585 人 (100%)	9 人 (1.5%)	567 人 (96.9%)	9 人 (1.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 理工学部は令和 2 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。 社会学部は令和 3 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。 情報学部は令和 5 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	223 人 (100%)	219 人 (98.2%)	1 人 (0.4%)	3 人 (1.3%)	0 人 (0%)
保健医療学部 看護学科	113 人 (100%)	109 人 (96.5%)	4 人 (3.5%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
保健医療学部 総合リハビリ テーション学 科	135 人 (100%)	121 人 (89.6%)	4 人 (3.0%)	10 人 (7.4%)	0 人 (0%)
政治経済学部 政治行政学科	46 人 (100%)	40 人 (87.0%)	4 人 (8.7%)	2 人 (4.3%)	0 人 (0%)
政治経済学部 経済経営学科	93 人 (100%)	90 人 (96.8%)	1 人 (1.1%)	2 人 (2.2%)	0 人 (0%)
合計	610 人 (100%)	579 人 (94.9%)	14 人 (2.3%)	17 人 (2.8%)	0 人 (0%)
(備考) 理工学部は令和 2 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。 社会学部は令和 3 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。 情報学部は令和 5 年度設置のため、令和 5 年 3 月時点での卒業生はいない。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 内規である「シラバス作成のためのガイドライン」と「シラバス作成・編集上の留意事項」に従って、シラバスの作成・公表を行う。また、特に留意すべき事項は以下のとおりとする。 1. 以下の示したシラバスの役割等を全教員で共通理解を図る。 (1) 授業選択のガイドとしての役割 (2) 担当教員と受講する学生との契約書としての役割 (3) 学修効果を高めるための役割 (4) 授業全体をデザインするための役割 (5) 学科・専攻・コースのカリキュラム全体に一貫性を持たせるための役割 (6) 授業の改善につなげる役割 2. シラバスの各項目の記載方法については、学生の視点に立ち、抽象的な表現は避け、具体的でより分かりやすい記述にする。 3. 授業担当者は、当該の講義の目的・達成目標等を明確に定めるとともに、本学および当該学部の CP:カリキュラム・ポリシーおよび、DP:ディプロマ・ポリシーに関連づけて設定されていることを確認する。 4. 授業計画(シラバス)作成時期は、毎年、2月初旬から3月上旬とする。 5. 授業計画(シラバス)公表については、学生には、学生ポータルサイトを活用して、WEB上で全学生が閲覧できるようにしている。 一般には本学の HP(ホームページ)において、授業計画(シラバス)を公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 単位認定の方針について 本学の学士課程における単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価します。 評価については、授業科目の担当教員が試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行います。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。複数の担当者で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮されています。なお、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を備えることで、成績評価の透明性を確保します。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	教育学科	124 単位	有・無	43 単位
保健医療学部	看護学科	138 単位	有・無	63 単位
	総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻	134 単位	有・無	50 単位
	総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻	135 単位	有・無	50 単位
	総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	124 単位	有・無	50 単位
政治経済学部	政治・政策学科	124 単位	有・無	43 単位
	経済経営学科	124 単位	有・無	43 単位
理工学部	理工学科	128 単位	有・無	45 単位
社会学部	社会学科	124 単位	有・無	45 単位
情報学部	情報学科	124 単位	有・無	45 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ（http://www.yamato-u.ac.jp/about/campus/）および大学案内（GUIDE BOOK）に記載 大学案内請求先：大和大学 入試広報部 〒564-0082 大阪府吹田市片山町 2-5-1 TEL：06-6385-8010 e-mail：admaster@yamato-u.ac.jp
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
教育学部	教育学科	1,140,000 円 2 年次以降 1,220,000 円	200,000 円	初等幼児・国語・数学専攻 初年次 30,000 円 2 年次以降 10,000 円 英語教育専攻 初年次 30,000 円 2 年次以降 20,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する模擬試験・資格試験等受験費用
保健医療学部	看護学科	1,550,000 円 2 年次以降 1,750,000 円	200,000 円	初年次 30,000 円 2 年次・3 年次 40,000 円 4 年次 45,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、抗体検査費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する模擬試験・資格試験等受験費用
	総合リハビリテーション学科	1,550,000 円 2 年次以降 1,750,000 円	200,000 円	理学療法学専攻 初年次 30,000 円 2 年次・3 年次 35,000 円 4 年次 45,000 円 作業療法学専攻 言語聴覚学専攻 初年次 30,000 円 2 年次・3 年次 25,000 円 4 年次 31,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する模擬試験・資格試験等受験費用
政治経済学部	政治・政策学科	970,000 円 2 年次以降 1,170,000 円	200,000 円	初年次 28,000 円 2 年次以降 10,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する資格試験等受験費用
	経済経営学科	970,000 円 2 年次以降 1,170,000 円	200,000 円	初年次 28,000 円 2 年次以降 10,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する資格試験等受験費用
理工学部	理工学科	1,430,000 円 2 年次以降 1,560,000 円	200,000 円	初年次 50,000 円 2 年次以降 35,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する資格試験等受験費用
社会学部	社会学科	970,000 円 2 年次以降 1,170,000 円	200,000 円	初年次 28,000 円 2 年次以降 10,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する資格試験等受験費用

情報学部	情報学科	1,350,000 円 2 年次以降 1,250,000 円	200,000 円	初年次 30,000 円 2 年次以降 20,000 円	〔諸経費に含まれるもの〕 学生教育研究災害傷害保険保険料、健康診断費用、教養テスト費用、学科・専攻単位で受験する資格試験等受験費用
------	------	--------------------------------------	-----------	---------------------------------------	--

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 経済的理由により修学が困難な学生は国の就学支援のための新制度に基づく授業料等の減免の他、日本学生支援機構の奨学金、その他地方公共団体や民間団体の奨学金を受けることができます。また、『国の教育ローン』をはじめ、提携金融機関の教育ローンを利用することができます。 経済的事情を鑑み、留学生は授業料の 2 割相当額が減額されます。 特に経済的理由により学生納付金の納入が特に困難な学生には、納付金の一部または全部を免除若しくは徴収を猶予する場合があります。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 各学部とも担任が進路選択に関する相談や指導を行います。 教育学部では教員採用を目指す学生を教職支援センターの教員が主として相談、指導に当たります。 保健医療学部では看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士それぞれの専門職としての就職を目指す学生を、担任を中心として各専攻の教員が国家試験合格のための学習と就職について指導します。 政治経済学部および社会学部では、担任がキャリアセンターのスタッフと共同・連携して筆記試験、エントリーシート、面接等の就職指導を行い、希望する職業への 100% の就職を目指します。また、キャリアセンターでは一般企業への就職を目指す教育学部、保健医療学部の学生に対してもサポートを行います。 理工学部では、就職を希望する学生には政治経済学部・社会学部と同様にキャリアセンターと連携して指導を行い、他大学大学院への進学を目指す学生には進学指導推進委員会を学部に立ち上げ指導します。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 毎年 4 月に学生健康診断を行って健康状態を確認し、治療や医療機関での再検査・相談を必要とする学生に指導を行っています。また、心身の健康に関して、各学部・各クラスの担任が毎年行う面談で確認するとともに、保健室とも連携して心身の健康に不安のある学生の相談、指導に当たっています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/information/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F127310108394
学校名	大和大学
設置者名	西大和学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		443人	429人	464人
内 訳	第Ⅰ区分	250人	259人	
	第Ⅱ区分	129人	107人	
	第Ⅲ区分	64人	63人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	—	前半期		後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下）	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。